

(二) 定例研究会

○第三一八回

二〇一九年一月一九日(火) 一八時より

三号館五階研究所会議室

「契約法における『自律』と『他律』 合意により

正当化とその限界」

大原寛史(本学法学部准教授)

○第三一九回

二〇二〇年一月二八日(火) 一七時より

三号館五階研究所会議室

「戦争犠牲者の記憶の記録化 戦後正義論と移行期

正義論について」

檜山幸夫(本学名誉教授)

(二) 学術講演会

○特別講演会

二〇一九年二月四日(水) 一六時三〇分より

○号館〇七〇三教室

「戦争犠牲者の記憶 『戦後論』を踏まえて」

檜山幸夫(本学名誉教授)

○学術講演会

二〇二〇年一月二日(火) 一六時四〇分より

○号館〇七〇三教室

「日本政治の現状とこれから」

岩井奉信(日本大学法学部教授)

(三) 研究部会

ロシア研究部会

・研究会

第一一四回

二〇一九年五月七日(火) 一八時より

三号館五階研究所会議室

「クラインとしての事態把握(日本語・ロシア語・

英語の翻訳を例に)」

ペトリシエヴァ・ニーナ(本学国際教養学部教授)

第一一五回

二〇一九年七月九日(火) 一八時より

三号館五階研究所会議室

「ロシアの祖国観とレールモントフ」

山路明日太(本学非常勤講師)

第一一六回

二〇一九年九月一〇日(火) 一六時より

三号館五階研究所会議室

「ロシア語におけるいくつかの古風な方言語彙の

もつ重要性」

佐藤規祥（本学非常勤講師）

第一一七回

二〇一九年一月二日（火）一八時より

号館五階研究所会議室

「社会の多様性における個人と人格と」

松田昇（本学名誉教授）

第一一八回

二〇二〇年一月四日（火）一八時より

三号館五階研究所会議室

「トルストイのキリスト教観 『福音書』をいかに読み、いかに受け止めたか」

安村仁志（本学学長）

台湾研究部会

・研究会

二〇一九年一〇月二日（月）午後四時三〇分より

三号館四階社会科学研究所所室

社会科学研究所台湾史研究センター

「農村地域における地方創生 日本と台湾との比較研究」

報告者 攄紹恒（交通大学客家文化学院院长）

・表彰

二〇二〇年一月三十一日（金）

公益財団法人日本台湾交流協会

社会科学研究所名誉所長である榎山幸夫名誉教授が、日本と台湾との相互理解による学術交流におけるこれまでの功績に対して、個人の初代受賞者として表彰されたため、表彰式に参加。

・調査

第一回

二〇一九年五月二日（木）～五月九日（木）

国史館台湾文献館において、同館との学術協定を調印および台湾総督府文書目録編纂。

中華民国元総統陳水扁との会談。

第二回

二〇一九年八月二六日（金）～八月三二日（木）

国立政治大学にてシンポジウムに関する打ち合わせ  
国史館台湾文献館において台湾総督府文書目録編纂。

第三回

二〇一九年九月二五日（水）～九月二九日（日）

沖縄県立博物館2019年企画展「台湾～黒潮でつながる隣シマ」TAIWAN～Okimawa's neighbor  
connected by the Kuroshio Current～に参加。

第四回

二〇一九年二月一八日（水）～二月二八日（土）

国立政治大学においてデジタルヒューマニティーズ研究会

国史館台湾文献館においてDHP試作のための打ち合わせおよび台湾総督府文書目録編纂

第五回

二〇二〇年一月九日(木)～一月一三日(月)

台湾総統選挙の取材

第六回

二〇二〇年三月二日(月)～三月四日(水)

台湾国立政治大学との学術交流

#### (四) 研究プロジェクト

公文書研究

・研究会

第一回

二〇一九年四月八日(月) 一八時から

三号館四階社会科学研究所室

第二回

二〇一九年四月二六日(金) 一七時から

三号館四階社会科学研究所室

第三回

二〇一九年五月二七日(月) 一八時から

三号館四階社会科学研究所室

第四回

二〇一九年七月二四日(水) 一八時から

三号館四階社会科学研究所室

第五回

二〇一九年九月六日(金) 一七時から

三号館四階社会科学研究所室

第六回

二〇一九年九月三〇日(月) 一七時から

三号館四階社会科学研究所室

第七回

二〇一九年一〇月八日(火) 一八時から

三号館四階社会科学研究所室

・調査

第一回

二〇一九年一〇月二六日(土)～一〇月三一日(木)

ローマ、モデナ、ボローニヤ、エミリア・ロマーニヤ、

サンミニアート

第二回

二〇二〇年三月二日(日)～三月二九日(日)

那覇、読谷、恩納村、宜野湾、浦添、豊見城、糸満

## 竹炭プロジェクト

・調査

## 技術動向調査

二〇一九年一〇月一五日(火)

材料 WEEK (京都市)

調査：自然由来炭素化合物についての調査

参加者：野浪 亨 (本学工学部教授)、他四名

(学生)

二〇一九年一〇月一五日(火)

島津製作所(京都市)

調査：竹炭の細孔分布の測定方法についての調査

参加者：島津製作所長山氏その他、野浪 亨 (本

学工学部教授)、他三名(学生)

二〇一九年一二月二七日(水)～一二月二九日(金)

第二九回日本MRS年次大会(神奈川県横浜市)

調査：自然由来炭素化合物についての調査

参加者：野浪 亨 (本学工学部教授)、他八名

(学生)

二〇二〇年二月一八日(火)

滋賀：ヤンマーガス化炉

実験内容：ヤンマーくん炭の調査

参加者：ヤンマーエネルギーシステム(株)脇坂氏、

野浪 亨 (本学工学部教授)、他四名

## ・実験

## 産学共同実験

二〇一九年六月五日(水)

滋賀：ヤンマーガス化発電ユニット

実験内容：ヤンマーくん炭の評価

参加者：野浪 亨 (本学工学部教授)、他四名

(学生)

二〇一九年一二月五日(木)～七日(土)

福岡：コンドーマシナリー

実験内容：炭素化材料の作製

参加者：コンドーマシナリー近藤社長他、野浪

亨 (本学工学部教授)

## ・展示

イノベーションジャパン2019～大学見本市&amp;ビジネス

スマッチング

「生体模倣製造プロセスによる環境調和材料の開発」、

「自然由来炭素化合物の開発」、野浪 亨、イノベ

ーションジャパン2019～大学見本市&amp;ビジネススマッチ

ング、単独、2019

参加者：研究支援課岡田氏、三好係長他、長谷川純

一 (本学工学部教授)、野浪 亨 (本学工学部教授)

## ・研究会

## 産学共同研究会

二〇一九年二月五日（木）一八時三〇分より

福岡県柳川市

議題：今年度の本学の取り組み、竹炭関連製品の

の開発状況、今後の研究計画

参加者：コンドーマシナリー（株）近藤社長、野

浪 亨（本学工学部教授）

## 産学共同研究会

二〇一九年一月一日（金）

本学：ヤンマーガス化炉

実験内容：ヤンマーくん炭の今後の検討方針

参加者：ヤンマーエネルギーシステム(株)脇坂氏、野

浪 亨（本学工学部教授）、他

## 産学共同研究会

二〇二〇年二月一日（火）

滋賀：ヤンマーガス化炉

実験内容：ヤンマーくん炭の今後の検討方針

参加者：ヤンマーエネルギーシステム(株)脇坂氏、野

浪 亨（本学工学部教授）、他

## オリンピック学際研究プロジェクト

## ・展示

中京大学スポーツミュージアム

二〇一九年十月三日（水）曜日

常設展示として「スポーツ・デジタルアーカイブズ」

の大型モニター上で文字・画像・音声データとして

研究成果を公開

## (五) 出版

## ○叢書

叢書・『ロシア的なるもの』の探求

## ○紀要

『社会科学研究』四〇巻第一号 二〇二〇年

『社会科学研究』四〇巻第二号 二〇二〇年